

本郷小学校 教科名 (算 数)

基礎・基本の定着を図り、学力の向上をめざす

1 ねらい

- 少人数指導やT T指導による指導方法を工夫改善するとともに、言語活動を充実し、基礎・基本を定着させ、表現力、思考力、判断力、問題解決力、自ら学ぶ力など確かな学力を向上させる。

2 取組概要

(1) 指導形態や指導方法の工夫

- 単元の導入段階では、これまでの学習の確認や単元における基礎的・基本的な内容をしっかり捉えさせるために、個別指導の機会が多くとれるT T指導、まとめの段階では、習熟に差が出てくるために、等質な集団による習熟度別少人数指導を導入した。
- 様々な考え方や方法で問題を解決させ、よりよい解き方に集約させていくところでは、異質な集団による均等分割少人数指導を導入した。
- スモールステップでT T指導→均等分割少人数指導という指導形態を繰り返し行った。
- T T指導では、役割分担を明確にするとともに劇化を取り入れた。

(2) 算数的活動やワークシートの活用

- 「100より大きい数」の単元では、125個のクリップを数えさせた。
- 「広さ調べよう」の単元では、図形を切ったり、並べ替えたりするなどの活動を取り入れた。



クリップを数える



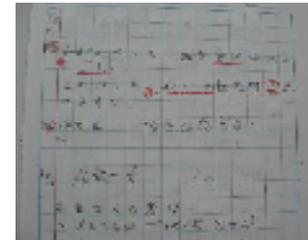
広さを調べる

(3) ノート指導やワークシートの活用

- 基本的な事項を全校で統一してノート導に取り組んだ。
- 学習内容に合わせたワークシートを作り、学習への見通しをもたせた。



算数コーナー



ノート指導

(4) 算数コーナーの設置

- いろいろな物の重さを測ったり、計算問題にチャレンジしたりできる算数コーナーを設置した。

3 成果等

- 児童の実態や学習内容に応じて指導形態を変化させることで、児童のつまづきを早期に発見し、個に応じた指導が効率的にできた。
- 様々な考え方や方法で問題を解決させていくところでは、均等分割少人数指導が効果的であった。
- T T指導では、劇化が児童の追究意欲を大いに高めた。また、役割分担を明確にし、授業中に情報交換を行うことで、つぶやきや考えを全体に広め、思考を深め個を生かした指導ができた。
- 数を数えたり、広さや量を実測させたり、体験的な活動や作業的な活動を多く取り入れることにより、思考が広まり、理解を確かなものにする事ができた。
- ノートに指導により、学習の振り返りができ、次の学習に生かすことができた。